

## 焼却炉2号炉の故障状況について (12月中旬頃までに復旧見込み)

11月12日に発生した資源化センター焼却炉2号炉の不具合については、故障箇所が確認でき、早期復旧の見込みとなりました。引き続きごみ処理非常事態宣言は継続いたしますので、市民の皆様にはごみ減量・分別へのご協力をお願いいたします。

### 1. 故障発生概要

- ・発生場所：資源化センター焼却炉2号炉 燃烧溶融炉頂部付近からの蒸気漏れ
- ・発生日時：平成30年11月12日（月）午前4時30分頃

### 2. 原因

当初の推測どおり、燃烧溶融炉の周囲に配置されている冷却水配管からの冷却水の漏れであることが確認できました。

配管に穴が開いた原因は、炉内にカーボンを供給している熱分解カーボン供給ノズルの上流側の配管内で異物（針金状の金属）による詰まりが生じ、配管内の流れが乱れたために、熱分解カーボンノズルを摩耗させ、その後、耐火壁の摩耗と冷却水配管の穴開きに至ったものです。

### 3. 復旧見込み

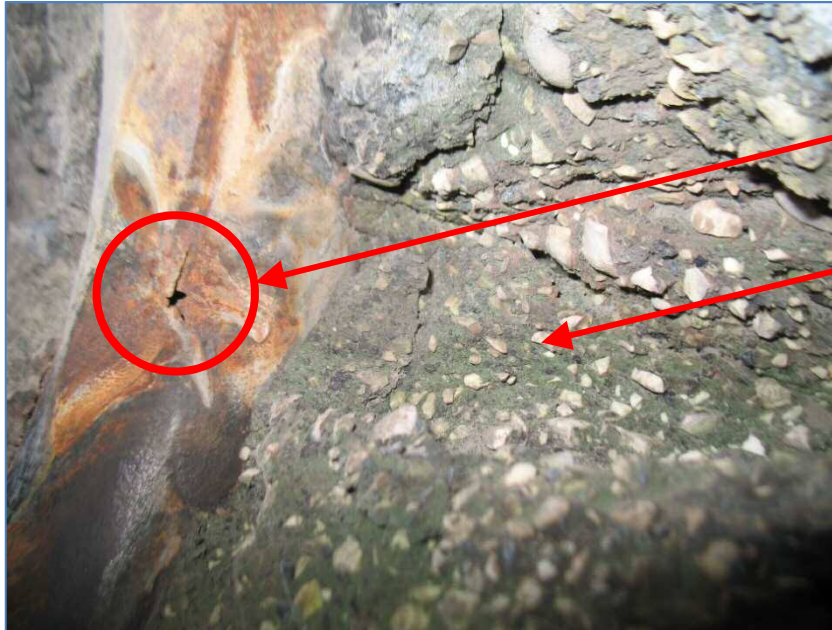
直ちに修繕を行う事により、平成30年12月中旬頃には復旧できる見込みです。このため、年度当初に見込んだ仮埋立の計画及び焼却処理には大きな影響はありません。

### ◆故障箇所イメージ図



◆冷却水配管 穴開き状況写真

(燃焼溶融炉内より撮影)



配管穴開き箇所

摩耗した耐火壁

冷却水配管を保護している耐火壁が摩耗したため、管が露出・摩耗し穴が開いている

◆熱分解カーボン供給配管 上流部分 詰まり状況写真

(カーボン供給配管内部を撮影)



異物(針金状の金属)

異物(針金状の金属)によるカーボンの詰まりが生じ、配管内の流れが乱れた

問合せ先 環境部 資源化センター センター長補佐 三木・三浦 (電話 51-2412)